

タイトル：レジ袋の有料化は継続すべきか？廃止すべきか？

問題場面： レジ袋の有料化は、2020年の7月1日から、レジ袋を扱う小売業を営むすべての事業者を対象に始まった。有料化の対象となるのは、購入した商品を持ち運ぶために用いる持ち手のついたプラスチック製の袋である。

本教材では、中学生にとっても身近な「レジ袋の有料化」を取り上げる。一見、レジ袋を有料化することによって、プラスチックゴミが減り、環境改善につながるという考えを持ってしまふ。しかし、「レジ袋の有料化」を環境面、経済面などあらゆる面から考えることによって、「レジ袋の有料化」が必ずしも良い影響を与えるわけではないことがわかる。そして、「レジ袋の有料化」を今後どうしていくべきか、提案しよう」という探究課題に取り組むことで、「レジ袋の有料化」に対する生徒自身の価値観が表出し、それぞれの価値観に基づいて意思決定を行うことができる。最後に、「レジ袋の有料化」は、環境への意識を高める狙いがあったことを共有し、「レジ袋の有料化」以外で環境への意識を高める取り組みはないかということを考えさせる。

あらゆる視点から「レジ袋の有料化」を考察することで、問いに対して疑問を持ち、物事を受け身で判断するのではなく、自分自身の考えをしっかりとって判断する力を養いたい。

対象： 中学1年生（中学2年生、3年生でも実施可能であると考えている）

道徳、総合的な学習の時間、数学の時間で実施（学年の教員が授業者として実施）

目標（何を育むか）：

社会問題（環境問題）となっているプラスチックゴミ問題を、「レジ袋の有料化」の観点から数理を使って考え、ゴミ問題についての理解を深め、自らの生活を見直すこと。「レジ袋の有料化」について考えることを契機として、さらなる取り組みについて考えること。

- ・社会問題（レジ袋の有料化）についてあらゆる視点から考察し、自分の意見を持つこと。
- ・社会問題（レジ袋の有料化）に対する自分の考えの説得力を増すために、数理科学的な視点から根拠づけを行うこと。
- ・自分と異なる意見の他者を実際に説得すること。
- ・他のグループの説得を聞き、評価すること。

指導計画：全7時間

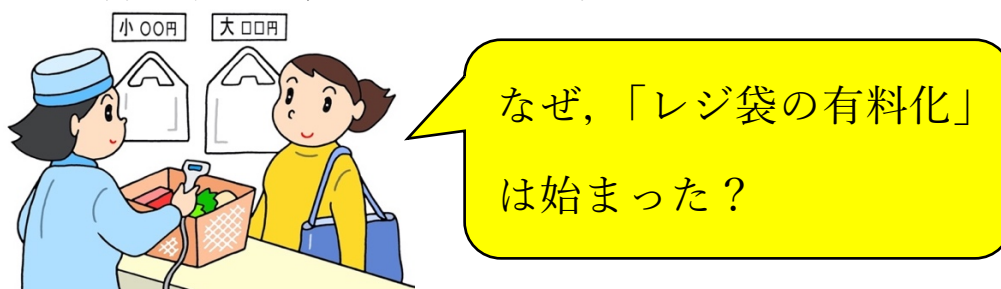
時間	内容
1（数学）	「なぜレジ袋は有料になったのか」という問いについて考える。 レジ袋とエコバックはどちらが環境に良いかをライフサイクルアセスメントのデータをもとに考える。
2（道徳）	「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきか考える。 「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきかという問いに対する他の生徒の意見を聞いたり、議論しているニュースを見たり、先生方の意見を聞いたりして、自分と同じ価値観や異なる価値観の他者の意見を知ること。
3～5（数学）	「レジ袋の有料化」に対する自分と異なる意見の他者を説得するための提案を考える。
6（総合）	実際に説得を試み、説得に対する意見をもらう。
7（数学）	説得を振り返る。

授業の様子

対象：愛知県名古屋市立中学校 1年生

① 第1時

授業の冒頭において、教師は買い物でのレジでの購入場面で、客がエコバックを使っている様子をイラストで提示しながら、店員と客との間でどのようなやりとりがなされているかを想像させ、レジ袋が有料化されたことを話題に取り上げた。そして、なぜ「レジ袋の有料化」は始まったのか、という問いを投げかけ、その理由について考えさせた。



この問いに対し、生徒から、「海にレジ袋やプラスチックを捨てる人がいるため」「地球温暖化を防ぐため」「二酸化炭素（CO₂）を排出しないため」などの意見が出された。また、レジ袋を有料化することによって、レジ袋を買う人が少なくなるのではないかという意見が出された。さらに、生徒たちは、レジ袋を買う人が少なくなれば、レジ袋のゴミが減り、海がキレイになり、地球温暖化が防げるのではないかと想像をふくらませていった。

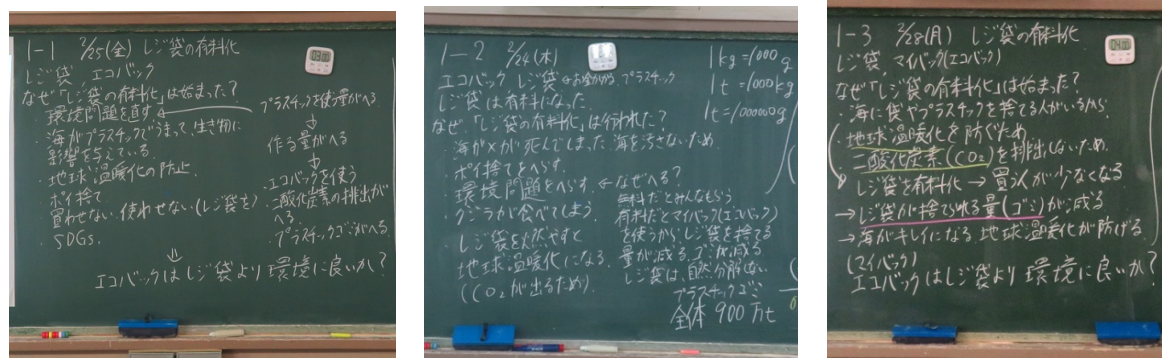


図1 「なぜレジ袋の有料化は始まったのか」という問いに対する生徒の答えの板書

この議論を通して、エコバックは、レジ袋より「環境に良い」のは本当か、という問いを見いだし検討した。検討する際には、ライフサイクルアセスメントのデータを参考とし、CO₂排出量とレジ袋によるゴミの量をフェルミ推定し比較した。

【問】エコバックは、レジ袋よりも「環境に良い」か、表をもとに考えてみましょう。

表 レジ袋1枚、エコバック1個を生産するときのデータ

		レジ袋	エコバック
重量		3.0(g/枚)	32.2(g/個)
材質		ポリエチレン	ポリエステル
CO ₂ 排出量 (g/枚)	原料段階	4.1	675
	製造段階	1.5	30.7
	輸送段階	0.2	1.8
	処分段階	9.6	74.3
	合計	15.4	781.7

(参考：ライフサイクルアセスメント)

レジ袋によるゴミの量については、フェルミ推定を用いた。具体的に生徒は、一週間のゴミの量を求めるために、与えられたデータからレジ袋の重量（3g）を取り出し、「1人1日1枚使う」、「使う人数は1億人」と仮定して、 $3 \times 7 \times 1 \text{億} = 21 \text{億 g}$ を得た。さらに、1年間を52週として、年間のゴミの量が $21 \text{億} \times 52 = \text{約 } 11 \text{万 t}$ であることを推定した。エコバックは多数回使うことによってレジ袋よりも環境への負担が少なくなることがわかり、いつでもエコバックが環境に良いわけではないことに気付いた様子であった。

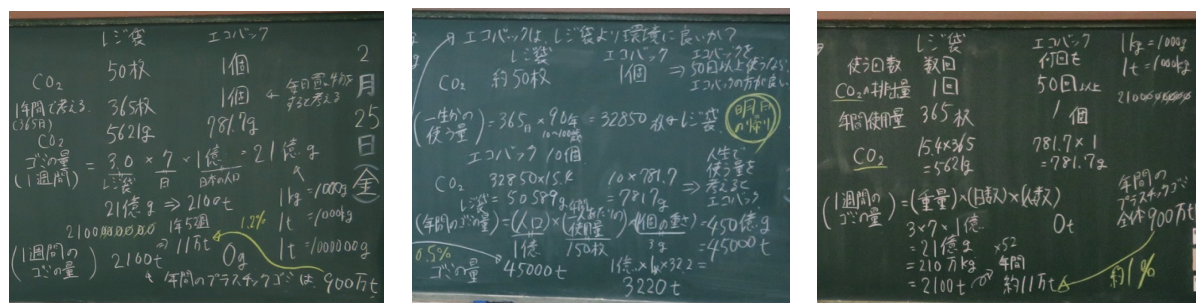


図2 ライフサイクルアセスメントのデータをもとにした生徒の推定の板書

教師から、年間のプラスチックゴミ全体の重量が900万tであるというデータを提示し、推定した結果との比較から、レジ袋のゴミの量は約1%に当たることを見いだした。この結果を受け、最終的に、「レジ袋とエコバックは、どちらが「環境に良い」のでしょうか」という問いに対する結論を理由とともに記述させた。以下に生徒のワークシートの記述を示す。

みんなエコバックが良いと言っているけれど、エコバックにもいろいろなデメリットがあり、

いざというときからいざというときまで、これだけの良い点、悪い点があるから

あてはまらない。自分の観点から見て出た意見を持つ、社会を良くして

いざというとき。

年間レジ袋のゴミは年間プラスチックゴミの1%だから、それほど多くないと思った。

最初はエコバックが絶対に環境に良いと思っていたけど、数回しか使わないからレジ袋のほうがいいとおもった。場合によってはどちらのほうがいいかわからないと感じた。

レジ袋を使うより、エコバックを使う方がよい。という事はよく聞くけど、

それがなぜか。という事や、本当にそうなの？ など身近な事柄に疑問

を持って良かったです。

エコバックとレジ袋のメリット・デメリット、レジ袋のゴミの量の影響度、身近な事象に疑問を持つことへの面白さなどについての記述が見られた。

② 第2時

「レジ袋の有料化」の継続の是非について、国会議員の SNS 等で発信された内容を提示し、「レジ袋の有料化」を継続すべきか廃止すべきかという議論がなされていることを伝え、「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきかという問いを考えさせた。この問いに答えることによって、多様な価値観の表出がなされることを期待している。まずは、自分の意見について記述させた。

【問】現在、レジ袋の有料化を継続するか、廃止するかという議論がなされています。
今後、レジ袋の有料化を継続すべきでしょうか、廃止すべきでしょうか。
あなたの意見を述べましょう。また、その理由を答えましょう。

その後、学級の生徒同士で意見を共有したり、「レジ袋の有料化」のメリット・デメリットについて考察した動画を流したり、学年の先生の意見をまとめた動画を流したりした。メリットや継続派の意見は、ゴミが減った街の映像や環境問題の改善等である。デメリットや廃止派の意見は、万引きが増えたスーパーの映像、効果が見えづらい等である。友達の意見、先生の意見、ニュース動画を見て、「レジ袋の有料化」に関する様々な意見を知った後に、レジ袋の有料化を継続すべきか廃止すべきかを改めて問うと、環境を第一に考えたため継続、便利さを第一に考えたため廃止など、あらゆる価値観を持って、継続か廃止かを考える姿が見られた。

○継続を希望する意見

人々の意識を変えるために継続を希望する意見。

レジ袋の有料化を継続すべきだと思います。
なぜなら、人々の意識が変わり、他のことでも(例えば、ゴミの分別)を
対策をするのではないかと思います。

環境を第一に考えた意見。

有料化も継続の方が良いと思います。ゴミ袋に入るとか、ゴミ屋敷で持ち帰るのが難しいとか、
不便があるかもしれない。環境を第一に考えた方がいいかなと思いました。

○廃止を希望する意見

日常の便利さを第一に考えた意見。

廃止すべき。
エコバックを持っていないし、1回、レジ袋をもらって忘れて
バックにしまった事故があるから。あと、無料でもった。

授業の最後の学習感想では、最初は自分の意見のみを述べていた生徒から、立場によって意見が異なるという記述や、決断の難しさについての記述が見られた。他者を意識した記述が見られた。

それぞれにメリット、デメリットがあり立場によって考えも変わってくるのかな。
と思った。→万引きは防げるけど、ゴミ問題など環境問題をより身近に
感じるためにも私たちができるか人々とよく話し合おうと思った。

いろいろな立場の人の意見があるから、とても決断するのは難しい
なと思った。

③ 第3～5時

第2時で先生方の意見動画を見たことをふまえて、自分と異なる意見の人を説得することを考える授業を行う。グループになり、自分とは異なる意見の先生を一人決め、その先生への説得を考え、実際に説得するという経験をさせる。以下は先生の意見である。

【継続派の先生の意見】

A：プラスチックゴミの量が減るから。

B：ゴミ処理の問題が改善するから。

C：レジ袋代は環境への寄付だと思っているから。

【廃止派の先生の意見】

D：本当の効果がわからないから積極的に取り組むことができない。他の方法があるのではないかな。

E：レジ袋を燃やしても公害にならない場合があるから。

F：レジ袋はゴミ袋として使っている。100枚入りのレジ袋を買っているからゴミの量は変わらないのではないかなと思うから。

【問】現在、レジ袋の有料化を継続するか、廃止するかという議論がなされています。

〇〇中学校の先生たちでも意見が分かれています。

継続を希望する先生、廃止を希望する先生の意見は下の通りです。

〈継続を希望する人の意見〉

〇A 先生→レジ袋の有料化でゴミが減るのであればすごく良い。ゴミ処理の問題も善す
ると思うので、「レジ袋の有料化」は継続すべきだと思う。

〇B 先生→自分は常にエコバックを持っている。エコバックを使うことによって、レジ
袋の利用が減り、レジ袋のプラスチックゴミの量が減る。ゴミの減量は環境
問題改善につながるため、「レジ袋の有料化」は継続すべきだと思う。

〇C 先生→レジ袋を買うか買わないかは本人が選択できる。エコバックを忘れてレジ袋
を買うこともあるが、レジ袋代は環境への寄付だと思っている（例：セブン
イレブン）ため、「レジ袋の有料化」は継続すべきだと思う。

〈廃止を希望する人の意見〉

〇D 先生→レジ袋の有料化によって環境改善を目指しているが、効果がわからないから
積極的に取り組むことができない。環境問題を改善するなら、もっと他の方
法があるのではないかなと思うので、「レジ袋の有料化」は廃止すべきだと思う。

〇E 先生→今はもうレジ袋を燃やしても公害にならない場合が多い。環境への悪影響が
あまりないのであれば、「レジ袋の有料化」は廃止すべきだと思う。

〇F 先生→レジ袋はそのままゴミ袋にして使っていた。今は100枚入りのレジ袋を買っ
ている。だから結局レジ袋の使用量は変わっていないのではないかなと思うの
で、「レジ袋の有料化」は廃止すべきだと思う。

今後、継続するなら廃止を希望する人を説得しなければなりません。また、廃止するな
ら継続を希望する人を説得しなければなりません。

それぞれ、相手を説得するための提案を考えよう！

第2時で考えた「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきかという問いに対する答えが類似している生徒同士の班に分かれ、意見が異なる相手を説得する提案を考える活動を行った。説得する相手は学年の先生（継続派3名、廃止派3名）で、先生方の主張の根拠はそれぞ

れ上記のように異なる。グループに分かれ、以下の手順で説得する先生を決めさせた。

①班で話し合い、「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきかという方針を決める。

②「継続を希望する先生」、「廃止を希望する先生」の中から、どの先生を説得する提案を考えるか決める。

③提案内容を考える（グループ活動）。

その後、実際に意見の異なる相手を説得するためにはどうしたら良いかと問うと、「相手のデメリットを伝える」、「根拠を持って伝える」、「こちらのメリットを伝える」、「相手の意見に耳を傾けつつ、こちらの意見を伝える」という意見が出た。そこで、説得を考える際には、「相手の主張への反論」→「自分たちの主張のよさ」→「お互いの主張を考慮した新しい代替案」の順で考えるとよいことを学級全体で確認した。そして、各グループで以下の課題に取り組んだ。

組 班
班のメンバー _____
私たちの班は、「レジ袋の有料化」は 継続 ・ 廃止 すべきであると考えています。そのため、 継続 ・ 廃止 すべきであると考えている人たちを説得しなければなりません。まずは、 _____ 先生を説得することを考えます。

実際に先生を説得するということを目標に各グループで活動に取り組んだ。相手を説得するためには、言葉だけでなく、数値やデータを示すことが有効であると考え、説得を考えていた。しかし、自分たちに都合の良いデータを集めて主張をしているグループが多く見られた（データ元を考えず）。この時間の活動をもう少し有効的に活用できることが望ましかった。代替案はほぼバイオマスプラスチックだった。

④ 第6時

第3~5時で考えた説得をもとに、実際に先生への説得を試みた。先生ごとに教室を分け、一班ずつ先生に対して説得を行い、説得に対するフィードバックを受け取るという活動を行った。他の班が説得している時は、その班の説得に対する評価をした。先生の意見は以下の通りである。

【継続派の先生の意見】

A：プラスチックゴミの量が減るから。

B：ゴミ処理の問題が改善するから。

C：レジ袋代は環境への寄付だと思っているから。

【廃止派の先生の意見】

D：本当の効果がわからないから積極的に取り組むことができない。他の方法があるのではないか。

E：レジ袋を燃やしても公害にならない場合があるから。

F：レジ袋はゴミ袋として使っている。100枚入りのレジ袋を買っているからゴミの量は変わらないのではないかなと思うから。

全20班あり、各先生へ説得する班の数は以下の通りであった。

【継続への反論】

A先生→2班、B先生→1班、C先生→1班

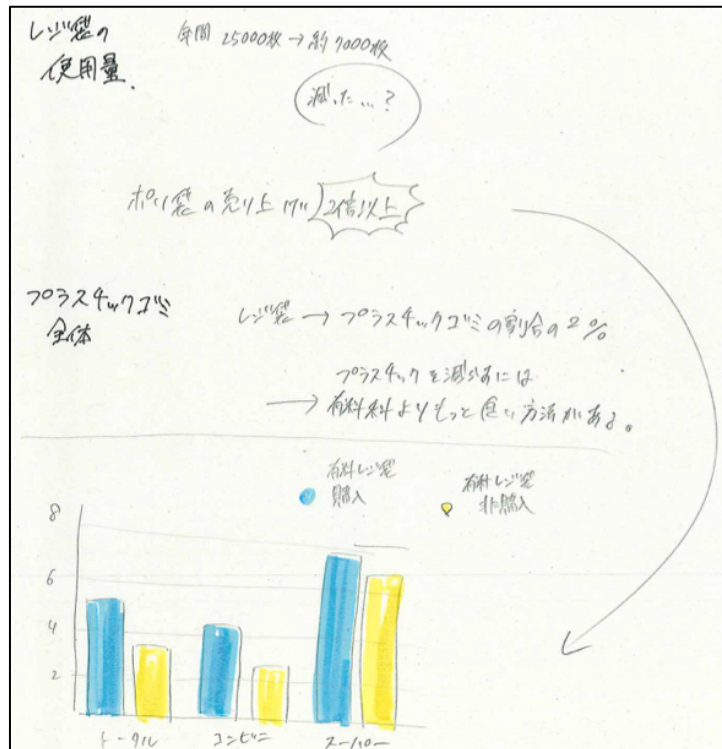
【廃止への反論】

D 先生→6 班, E 先生→9 班, F 先生→1 班

説得のためにデータなどを使って主張をする様子が見られた。

【継続を希望する先生への意見】

○A 先生への意見



○B 先生への意見

○プラスチックゴミが減っているかはよく分かっていない
↳ エコバックを使う人が増えてレジ袋を使う人が減っても
効果が出ているかは分からない。はっきりしたデータが
ない。

メリット

- ・ 無料になって 使いやすくなる (増)
- ・ 万引きを減らせる (マイバックを使う人が増えた
ことにより万引き (増))
- ・ よこれたごみを捨てるために
レジ袋は必要!!

【廃止を希望する先生への意見】

○D 先生への意見

8ヶ月で200億枚ものレジ袋削減
 ⇒ レジ袋一枚にかかるCO₂排出量 15.48g
 200億枚をかけると 3080億g。
 つまり、3080億gものCO₂が削減されている。
 ~メリット~
 人々の環境問題への意識の向上
 2020年 3月 11月
 ⇒ 辞退率が2倍以上上がっている、全体 30.4% ⇒ 71.9%
 ファミリーマート 77%
 ローソン 75%
 セブン 75%
 2倍以上

○E 先生への意見

レジ袋CO₂排出量合計61g
 ↓
 年間およそ300億枚が消費されている
 ↓
 単純計算CO₂排出量は年間で1兆8300億g
 ↓
 再生可能エネルギーではなく
 地球が壊れる問題の
 地球温暖化の問題にもなる

⑤ 第7時

前回への説得の中でも、より主張が的確であった継続派、廃止派の提案動画を見て、他の班がどのような説得を行っていたのかを見させた。その後、先生からのコメントや他の生徒からの評価を受けて、班で行った説得を振り返った。よかった点、改善点など今後に繋げられる記述をさせた。よかった点は、様々な角度から根拠を考えられたことなどが挙げられていた。改善点は、データの信憑性がなかったことなどが挙げられていた。

データの出所や信憑性がなかった。
 決定的な根拠が欠けていた。

最後にもう一度個人活動に戻り、改めて「レジ袋の有料化」を継続すべきか、廃止すべきか考えた。最初の意見から変容した生徒も見られた。また、継続、廃止だけでなく、どちらでもよいという中立の立場の意見も現れた。そして、生徒の記述を見ると、ただ単に継続か廃止か意見を述べるのではなく、様々な角度から自分の主張を考えることができている様子が見られた。

【問】現在、レジ袋の有料化を継続するか、廃止するかという議論がなされています。
 今後、レジ袋の有料化をどうしていくべきでしょうか？
 また、その理由はなんですか。

継続→継続	継続→廃止	継続→どちらでも	廃止→廃止	廃止→継続	廃止→どちらでも	その他
72人	8人	8人	13人	0人	1人	4人

【継続を希望する意見】

継続すべき。
他国も有料化してから早くとも二年遅くて五年で効果があら
われたから日本はまた継続すべき。
有料化はライフスタイルの変革をもたらし、その中で「あるので」
これからプラスチック全体の量の減らすとある時に、或
なればため。

【廃止を希望する意見】

廃止を希望します。
理由は、レジ袋の使用量が減った。その代わり、コンビニに使う
増えたので、コンビニに買い戻したと言っているからです。
効果もあまり見えていないのに、弁当を手に持つサウリーマンや、
エコバックに会計していない商品を入れる人が増える一方だと、
不便なので、バイオマス製の袋に変えたり、ほかの方法に変えた方が
良いと予感があります。でも、有料化にして、人の行動を変えようという意識は
あると思うので、それは良いと思います。その意識を効率よく使えば
良いと思うのです。

【中立の意見】

継続にも廃止にもメリット、デメリットがあるから、一番効果のある方を
賛成するけど有料化よりは分解しやすい袋をもっと広めたり他の方法で環境を
良くするきっかけをつけた方が良いと思った。

生徒が代替案にバイオマスプラスチックを挙げていたので、学区内にあった海洋生分解性レジ袋の開発を行っている企業に賛同していただき、取り組みについて生徒に紹介させていただいた。実際にレジ袋に触れたり、海に流れ着いた時の変化の様子やコストの問題を伝えると生徒は驚いた様子であった。「海洋生分解性レジ袋」を配布し、環境を改善するために実際に社会ではどんなことが行われているかを共有したことによって、生徒にとってプラスチックゴミ問題がより身近になったと思う。

最後に、「レジ袋の有料化」は環境への意識を高める目的があったことを受けて、「レジ袋の有料化」以外に有効な取り組みはないか考えさせた。

授業全体を通した学習感想は以下の通りであった。それぞれの価値観のもと学びを深めている様子が伺える。

まず、楽しかったです。

継続派へどう変わらず、継続派だけで廃止は廃止に自分も納得しました。

昨(1)にじっくり話し合えたし、大変な、納得できました。

自分は継続派だけれど、廃止派の意見も分かることもあるので

絶対どちらかがよりなど頑固にならず、相手の意見も尊ぶことが大切

だということも分かった。それからレジ袋だけでなく、その他のプラフツシを

使用せず、リサイクル素材や安いものなどを使用し、環境問題も意識しながら

生活していきたいと思った。

継続・廃止で半々に分かれていたのでも自分と反対の意見
の人の中に人々にも多いんだなと思いました。

テーマがあやふやで本番読得していたので問題と
合ったテーマ、調査をして、それを分析した上でしっかりと
テーマと合っているかをかくにんして、次は正しい読得が
出ると思うと思いました。

⑥ 授業後の生徒の振り返り 春休みの課題

授業を終えて、生徒に実生活に戻った時に考えたことをレポート課題として出したので、そのワークシートの記述も参考として記載させていただく。

(1) 春休みの課題

数学や総合の授業で、「レジ袋の有料化」を継続するか、廃止するかということを考えてきました。

その授業を終えて、自分の生活で変わったこと・気になったこと・気づいたことなどがあれば書き出そう。

また、授業からさらに考えたことや調べたことがあれば書き出そう。

【自分の生活で変わったこと】

家族とレジ袋の使い方を見直したり、
ゴミを捨てる為の使う袋を包装などに使われていた
使用済みのものを使い新しい袋を使うのを避けるようになった。

レジ袋は有料だけど、なんか無料でしる店があった。

金城ふ頭の方に行った時に、道端や海にゴミが想像以上にたくさんあって
びっくりした。

なぜレジ袋より環境にいい紙袋が高いのか調べたら、
原材料が紙袋の方が高いと分かった。
レジ袋の原材料の方が安いという事は、レジ袋の原材料は
紙袋の原材料より希少なものなのか？と思った。
レジ袋より環境にいいとされているが、
紙袋の原材料の方が希少なので、原材料を取ると、
違う意味で環境に悪いのでは？と考えた。

気になったことは、とくに「はいんてすけ」と、小学生の時にホイ捨てとかしちゃって
たから、そこがダメだなと思う。今ちゃんと家にもってかえってるみたいです。
(エホバの証人)

・おかしなどの個包そうが多いと最近感じるように
なった。それらをなくすることも課題だと思った。

自分の家ではレジ袋を一気に沢山買って車に置いて
買い物をするときにそれを使っている。使った袋はごみ袋にして
使っています。コロナの感染対策として、マイバックを何度も使う
のは衛生的に良くなるから、と答えてくれました。

【さらなる問題意識】

レジ袋有料化の効果をあげるには「レジ袋をもらわない」こと
だけにフォーカスするのではなく、さらに「レジ袋をつかわない」という
意識に消費者全てが変えていかないといつまでたっても
プラスチックゴミの削減にはつながらないと考えた。

・レジ袋の成分も農作物の肥料に
すればいいのではないかと考えた。

レジ袋の価格を店別で統一するんじゃなくて、
大きさや価格を統一したら、もっとわかりやす
くなると思う。

・レジ袋有料化を行う事でポイ捨てが減る。という考えもあるみたいだけど、本当にそうなのか疑問に思う。
ポイ捨てをなくしたいなら他にもっといいやり方があると思う。
例えば、この前茶屋に行った時、ポイ捨て禁止の看板を見つけたから、そんな風に看板にするなど工夫があると思う。
・さらに、ゴミの量を見るだけでなく、有料化になって困っている人達の声を聞く事も大切だと思った。

・買い物についていて、お会計の時に回りを見てみるとマイバックを持っている人が増えたなと思う。

・エコバックを毎日持ち歩くようにしたのは、大きいバッグで出かけるようにした。
・プラスチックから紙に使うものが多くなった（ストローなど）
・プラスチックをあまり使っていない、環境にやさしいゴミ袋と買うようになった。

【気づいたこと】

○スーパーに売っているペットボトルのラベルが紙のものが多かった。
ラベルをはがすことで、少しでもプラスチックのゴミをへらそうとしていると思った。

ストローが紙ストローになった

↳スターバックスや、京都に行った時も、大型チェーン店ではない店でも紙ストローだった。

気づいたこと
・お店でレジ袋をもらえなかったときに
店員さんに「ありがとうございます」と言ってくれた。
・レジ係さんからしたら、次もやりたくなるような発言。

⑦ 学年の先生方の意見

学年の先生方と共に授業を行なったため、先生へのアンケートも行った。その一部である。

【生徒からの説得を受けて】

・数値を用いたデータ、日常的に考えるメリットデメリットを活用し、説得力のある説得になっていました。
・国語でもそうですが、調べたものが何か分からないのに、載っていたからと伝える生徒が多いため、発表者自身がお話内容のよさを分かった上で発表すると、さらに説得力が増えると思います。

数字で考えることもあったので、こんなデータがある
たはあ、と思いました。

意識づけるために、行っているということとを理解しました。

生徒が調べる時間に限りがあったと思いますが、説得する
内容がうまいと感じました。班で協働すればもう少し調べることが
できたのではないかと思います。ですが、説得するためには何かが必要か、
データを使用するときの注意点などが学べて良い経験になったと思います。

【「レジ袋の有料化」について考えたこと】

今回で考えた事は、レジ袋有料化になり国民は意識の改革はできたと思う。
ただ、有料化になっても、ゴミの量は変化があまりないので、第2弾の改革が必要で、
それは、レジ袋有料化ではない様に思う。海洋分解性ゴミ袋やデポジット制導入など
新しい視点で考えていくのがよいと思う。

- ・クリーニング店 ビール袋 → 回収
 - ・家電製品 ビール袋 茶袋 スーパー → 回収
 - ・食品のラップ、ペットボトル → 回収
- 回収後は 現金
もしくは
ポイント

【授業を行い「レジ袋の有料化」について考えたこと】

直接環境に大きな影響はなくても、

国民の環境に対する意識が大きく変化してこれば

と私は大層だと思える。レジ袋にお金を支払うことが

当たり前になっているからこそ、環境税をかけるのだとして、

より強引な政策打ち出せるのではと思いました。

（引き金被害が
増加している
可能性がある）

レジ袋はゴミ全体の2%にすぎないという事は初めへ知りました。
また、イナズナが大量の原因という事も初めへ知り、分別や環境
について少し興味を持てました。
僕はレジ袋は継続で良いのではと考えています。あくまでも意識付けですが、
その意識が大切だと思ひ、発表を通じて、少し効果はあるとも認識で
います。

⑧授業全体の考察、今後の課題

生徒にとって身近である「レジ袋の有料化」をきっかけにプラスチックゴミ問題について考えた。最初は「レジ袋は悪で、エコバックは善である」という考えを持っていた生徒も、ライフサイクルアセスメントのデータを参照して計算することによって、様々な場合で異なることがわかった。自分たちに身近な「レジ袋の有料化」について考えることで、環境問題についてあらゆる側面（環境第一、便利さ、お金）から考えることができていた。

2時間目以降は、「レジ袋の有料化を継続するか廃止するか」という探究課題について考えた。様々な価値観がある中で、自分とは異なる意見の人を説得するということを目指して提案を考えた。実際に説得するという事で、生徒も細かく調べて提案をしようとしていた。レジ袋の有料化に関するデータが膨大にあるため、生徒の主張に都合の良いデータを使ってしまっていたように感じる。この活動での数学的手法がもっと豊富に出てくることが望ましかった（今回使われていた数学的手法は、フェルミ推定、データ分析、割合など）。データを疑うという姿勢がなかった点も課題である。中学校2年生、3年生でこの授業を行うことでより深まりのある学びとなることが期待できる。

実際に先生を説得し、先生からコメントをもらうことによって、自分たちの提案について振り返ることができた。データが正しくなかったことや、数値を使って説得を考えることが必要であったなどの記述が見られた。

実生活に戻って学んだことを生かそうとする姿勢が見られたことも価値があったと思う。